



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。  
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

# JOCオリンピック教室

## 実施報告書

秋田県 北秋田市立森吉中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会



## 「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和4年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、  
オリンピック自身の様々な経験を通して  
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、  
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、  
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人 日本オリンピック委員会（JOC）
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート） ※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2022年4月～2023年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

### 1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、  
チームワーク、フェアプレー、  
身体を動かすことの楽しさ等を感じてもらいます。



### 2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、  
自身が感じたオリンピックの価値を生徒に伝え、  
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



**1コマ目**

**運動の時間 / 50分**

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介  
学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

**2コマ目**

**座学の時間 / 50分**

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、  
あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、  
分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、  
今後活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した  
自己紹介



オリンピック自身の経験に基  
づく「オリンピックの価値」等を  
伝える



個人またはグループワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ  
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって変動する場合があります

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。



■ **オリンピック** : 荻原 次晴 先生 (スキー／ルディック複合) 【出場オリンピック／長野大会】

■ **期 日** : 2022年6月9日(木)

■ **ク ラ ス** : 2年A組／運動の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ 準備体操



・自己紹介の後、オリンピックバリューの3つの価値である「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」について、オリンピックだけに関係するのではなく、皆の日常生活の中にも関わっていると説明。運動の時間は、体を動かしながらオリンピックバリューを感じてほしいと伝え、準備運動に移る。

○主運動 等



・主運動の1つ目は、滑走リレーを実施(全2回)。班毎に分かれ、片足にモップシューズを履き、もう片方の足は床から離さずに滑る。折り返し地点のコーンを回って戻り、次走者に繋ぐ。2回目は、折り返し地点で、モップシューズを反対の足に履き替えるルールに変更して実施。



・主運動の2つ目は、人間知恵の輪を実施(全2回)。班毎に分かれ、各自が持つハチマキで1つの大きな輪を作る。全員が内側を向いた状態からハチマキを持ったまま全員が外側に向けたら成功。  
 ・運動の時間を振り返り、皆が一生涯懸命取り組んだり、班で協力していたので、オリンピックバリュー「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」を感じてくれたと思う。座学の時間は、オリンピックバリューについて、一緒に考える時間にしたいと伝え、授業終了。



■ **オリンピック** : 荻原 次晴 先生 (スキー／ルディック複合) 【出場オリンピック／長野大会】

■ **期 日** : 2022年6月9日(木)

■ **ク ラ ス** : 2年A組／座学の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ オリンピックの価値を伝える



・競技映像を見ながら自己紹介を行った後、双子の兄がオリンピックで金メダルを獲得し、その兄と間違われたことがきっかけで、オリンピックを目指した。オリンピックを経験したことによって、自分自身を磨くことや頑張ることの大切さ、仲間やライバル、兄弟、家族が応援してくれたことへの感謝等、沢山のことを学ぶことができた。オリンピックバリューはオリンピックだけのものではなく、学校生活や日常生活の中にもあり、皆にも当てはまる。今後、目標や夢に向かって行く中で、挫折することや落ち込むこともあると思うが、乗り越えた後に何か感じたり見つけることができると伝え、個人ワークに移る。

○個人ワーク ～ グループワーク 等



発問：学校生活や日常生活の中で感じることを、オリンピックバリューに当てはめてみよう。

発表：エクセレンス：「テスト前にコツコツ勉強した結果、テストの成績が上がった時」等

フレンドシップ：「普段はふざけ合っている友達と、いざという時は真面目に取り組み協力し、目標を達成できた時」等

リスペクト：「いつも美味しい食事を作ってくれる母親に感謝の気持ちを持つ時」等



・オリンピックバリューは、世界中の人に感じて貰いたい言葉。オリンピックは、ただ強い人を決める大会ではなく、オリンピックを戦う人がどんな努力をしたか、最後まで戦えたか、仲間を大切に、仲間を作ることができたか等を伝える大会だ。そしてその大会を見る人が、そのことを感じ、考えることが大切だと話す。皆もオリンピックを別世界のことだと思わずに、今日をきっかけに少しでも身近に感じてほしいと伝え、授業終了。



■ 集合写真

・2年A組



■ 記念品贈呈

・2年A組



■ 修了証贈呈

